Image Capturing Device

使用説明書

ご使用の前に必ずこの「使用説明書」をお読みの上、正しくお使いください。
本書をすぐに利用できるように保管してください。

はじめに

このたびはリコーデジタルカメラをお買い上げいただき、誠にありがとうございました。本書は、本製品の正しい使い方や使用上の注意について記載してあります。本製品の機能を十分にご活用いただくため、ご使用の前に、本書を最後までお読みください。本書が必要になったとき、直ぐに利用できるよう、お読みになった後は、必ず保管してください。

株式会社リコー

テスト撮影について

必ず事前にテスト撮影をして正常に記録されていることを確認してください。

著作権について

著作権の目的になっている書籍、雑誌、音楽等の著作物は、個人的または家庭内およびこれに準ずる限られた範囲内で使用する以外、著作者に無断で複写、改変等することは禁じられています。

ご使用に際して

万一、デジタルカメラなどの不具合により記録や再生されなかった場合、記録内容の補償については、ご容赦ください。

保証書について

このデジタルカメラは国内仕様です。保証書は日本国内において有効です。外国で万一、故障、不具合が生じた場合の現地でのアフターサービスおよびその費用については、ご容赦ください。

電波障害について

他のエレクトロニクス機器に隣接して設置した場合、お互いに悪影響を及ぼすことがあります。特に、近くにテレビやラジオなどがある場合、雑音が入ることがあります。その場合は、次のようにしてください。

・テレビやラジオなどからできるだけ離す
・テレビやラジオなどのアンテナの向きを変える
・コンセントを別にする

〈電波障害自主規制について〉

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

使用説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

・本書の内容に関しては将来予告なく変更することがあります。
・本書は内容について万全を期して作成いたしましたが、万一ご不審な点や誤り、記載漏れなどお気付きのことがありましたら、巻末をご覧の上ご連絡ください。

目次

第1章　準備

第2章　撮影

第3章　再生

第4章　消去

第5章設定／その他

付録

このカメラでできること

● 334 万画素で記録できます

334万画素CCD使用により、高画質、高解像度（2048 × 1536）を実現しました。

●コンパクトタイプのカメラです

持ち運びに便利な薄型、軽量タイプのカメラです。撮影シーンを選びません。

●すぐに記録できます

レリーズボタンを押すだけの簡単操作です。撮影画像（ファイル）は、内蔵メモリー（8MB）またはスマートメディア（2/4/8/16/32/64MB）に記録できます。

***メモリー内蔵のため、スマートメディアの入れ忘れで撮影できないといったことがありません。**

●その場ですぐに確認できます

記録したファイルは、再生モードに切り替えるだけで確認できます。拡大（ズーム再生）や回転、複数ファイル表示（分割再生）など、いろいろな再生方法があります。

***スマートメディアと内蔵メモリーを利用して、友達と撮影画像を交換できます。**

●大量撮影、高画質撮影ができます

画質を優先したFモードや記録枚数を優先したEモードなど、用途に合わせて切り替えができます。

●望遠から広角まで広範囲を撮影できます

3倍ズームレンズ付きのため、被写体のアップや背景を入れた広範囲の撮影など、いろいろな構図で撮影できます。

●自然の色合いで撮影できます

ホワイトバランス機能により、屋外や室内など、どんな光源の下でも被写体を自然の色合いで撮影できます。

●クローズアップで撮影できます

被写体に近づいて（約1cmまで）*1 クローズアップで撮影できます。マクロ撮影（接写）といい、花や小物などの撮影に最適です。

***1：マクロモードにした場合**

●テレビでもモニターできます

付属のAV接続ケーブルを接続すると、記録したファイルをテレビで再生できます。また、ビデオデッキやビデオプリンターに接続すると、ビデオテープにダビングしたり、フルカラープリントが可能です。

●パソコンに転送できます

本機対応のソフトウェアを利用して、パソコンにファイルを転送できます。パソコンに取り込んだファイルは、カラープリンターやカラー複写機でプリントできます。

各部の名称

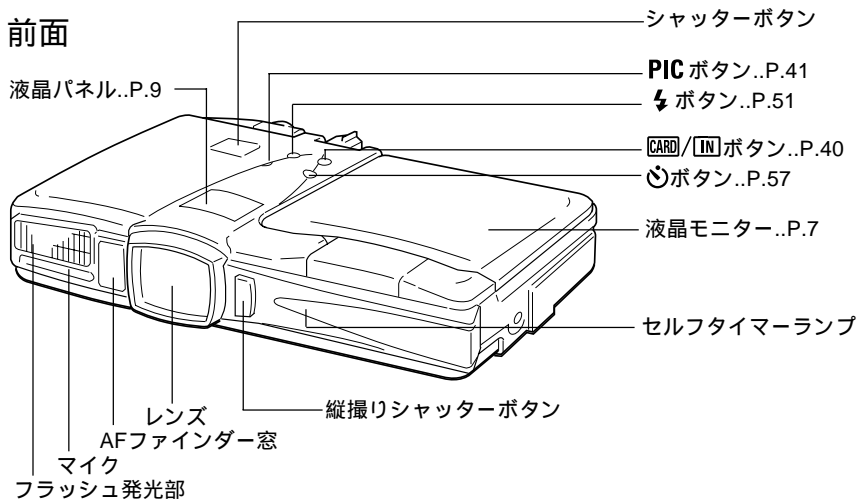
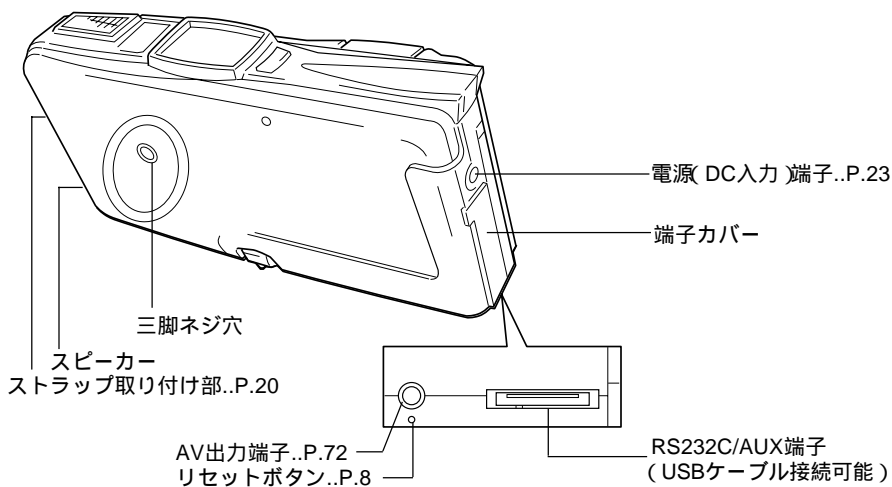
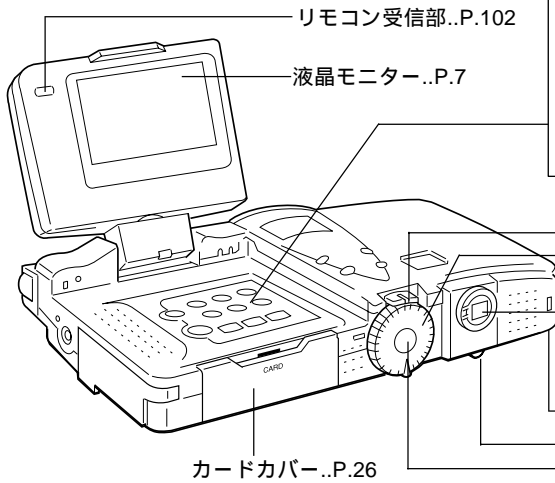
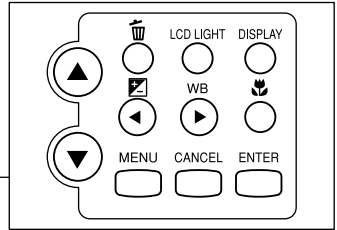
■カメラ本体

前面

背面

操作部

操作パネル

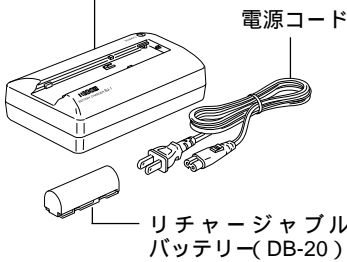
LCD LIGHT
DISPLAY
WB
MENU
CANCEL
ENTER

リモコン受信部..P.102
液晶モニター..P.7
ズームレバー..P.42
モードダイヤル..P.28
ファインダー
・フラッシュランプ
・オートフォーカスランプ
電池ぶた..P.22
視度調整つまみ..P.35
電源スイッチ..P.39
カードカバー..P.26

CARD

■バッテリー / バッテリーチャージャー

バッテリーチャージャー（BJ-1）

電源コード

リチャージャブル
バッテリー（DB-20）

■ AC アダプター（別売り）

・AC-3（100V）

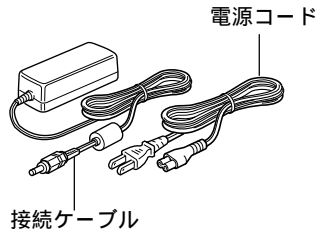
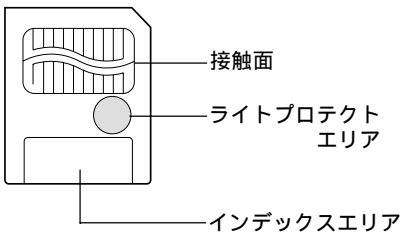
電源コード

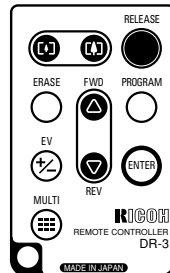
接続ケーブル

■スマートメディア（別売り）

接触面

ライトプロテクト
エリア

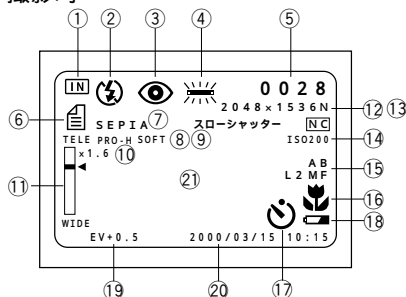
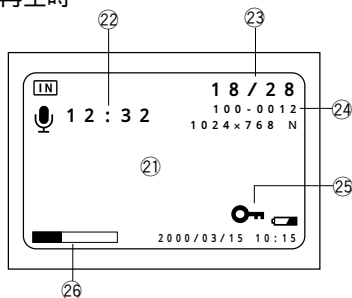
インデックスエリア

■リモコン（別売り）

・DR-3

情報表示について

液晶モニターや液晶パネルには、電池の状態や記録可能枚数、設定されているモードなど、カメラの状態をマークや数字で表示します。

液晶モニター

■情報表示

撮影時

再生時

①記録先/再生元（CARD・IN）..P.40、74
②フラッシュモード（・・点滅・A）..P.51
③赤目モード（）..P.61
④ホワイトバランスモード（AUTO：表示なし・・・・）..P.55
⑤残り記録枚数・残り記録時間
⑥ファイル種類（静止画：表示なし・・・・）..P.39、47〜50
⑦モノトーンモード（B&W・SEPIA）..P.64
⑧PROモード（PRO・PRO-L・PRO-H）..P.68
⑨ソフトモード（SOFT）..P.63
⑩デジタルズーム..P.42
⑪ズームバー..P.42
⑫サイズ/画素数（2048×1536・1024×768・640×480）..P.41
⑬画質/圧縮率（F・N・E）..P.41
⑭ISO感度設定（ISO200・ISO400）..P.62
⑮オートブラケット撮影（AB）..P.66 / フォーカス表示（MF）..P.60
長時間露光撮影（L1・L2・L4・L8）..P.69
⑯マクロ撮影（）..P.58
⑰セルフタイマー（）..P.57
⑱電池マーク（）..P.8
⑲露出補正値..P.54
⑳日付・時刻..P.32

㉑メッセージ
㉒録音時間/録画時間
㉓再生ファイル番号/総ファイル数
㉔ファイル名
㉕プロテクトマーク（）..P.82
㉖インジケータ

・ここでは、全ての情報を表示していますが、実際には必要な情報だけが表示されます。
・ファイル名は、プリントサービスのときなどに使用します。DCF（Design rule for Camera File system）に準拠していないファイルが再生された場合は、「＊□□□□□□□□」と表示されます。
パソコン上でファイル名を変更した場合、カメラでは正しく表示できないことがあります。

■警告表示と対処法

次の警告が表示されたときは、内容をご確認の上、対処してください。

警告表示	状態	対　処　法	参照頁
	点灯	カメラのバッテリーの消耗を表しています。バッテリーを充電してください。	P.21
カードを入れてください	点滅	スマートメディアがセットされていません。スマートメディアをセットしてください。	P.26
ライトプロテクトされています	点滅	ライトプロテクトされたスマートメディアがセットされています。ライトプロテクトをはがして撮影してください。	P.25
プロテクトファイルです	点滅	消去しようとしているファイルにプロテクトが設定されています。プロテクトを解除してから消去してください。	P.82
ファイルがありません	点灯	再生できるファイルがありません。記録済みのスマートメディアをセットしてください。	P.26
UNMATCHED FILE	点滅	再生できないファイルを選択しました。	P.72
FILE NUMBER OVER	点滅	これ以上記録できません。内蔵メモリーをフォーマットしてから記録するか、スマートメディアをセットして記録してください。	P.94
日付を設定してください	点滅	日付が設定されていません。操作する前に日付を設定してください。	P.32

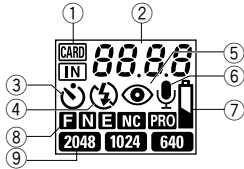
■エラー表示と対処法

次のエラーが表示されたときは、内容をご確認の上、対処してください。

エラー表示	対　処　法	参照頁
カードをフォーマットしてください	スマートメディアがフォーマットされていません。このカメラでフォーマットしてから使用してください。	P.94
内蔵メモリーをフォーマットしてください	内蔵メモリーをフォーマットしてから使用してください。	P.94
カードエラー使えません	このカメラで使用できないスマートメディアです。他のスマートメディアをご使用ください。	―

・上記方法を行ってもエラー表示が消えないときは、端子カバーを開き、リセットボタン（P.5）を押してください（工場出荷時の設定に戻ります）。それでも改善されない場合は、お買い上げ店またはリコー修理受付センターまでご連絡ください。

液晶パネル

■情報表示

撮影時　　　　　　　　**再生 / 消去時**

①記録先/再生元（CARD・IN）..P.40、74
②残り記録枚数・記録時間
③セルフタイマー（）..P.57
④フラッシュモード（AUTO：表示なし・・・点滅）..P.51
⑤赤目モード（）..P.61
⑥音声表示（）..P.48、50、75
⑦電池マーク（）..P.8
⑧画質/圧縮率（F・N・E・NC・PRO）..P.41
⑨サイズ/画素数（2048・1024・640）..P.41

⑩再生ファイル番号・再生時間

補足　・デジタルカメラ DC-3Z/DC-4/RDC-5000 シリーズ（リコー製）や他社機など、本機以外で撮影されたファイルは、記録先 / 再生元（CARD・IN）以外は表示されません。

■エラー表示と対処法

次のエラーが表示されたときは、内容をご確認の上、対処してください。

エラー表示	対　処　法	参照頁
CARD no.Fo	スマートメディアがフォーマットされていません。このカメラでフォーマットしてから使用してください。	P.94
IN no.Fo	内蔵メモリーをフォーマットしてから使用してください。	P.94
CARD Err	このカメラで使用できないスマートメディアです。他のスマートメディアをご使用ください。	—

補足　・上記方法を行ってもエラー表示が消えないときは、端子カバーを開き、リセットボタン（P.5）を押してください（工場出荷時の設定に戻ります）。それでも改善されない場合は、お買い上げ店またはリコー修理受付センターまでご連絡ください。

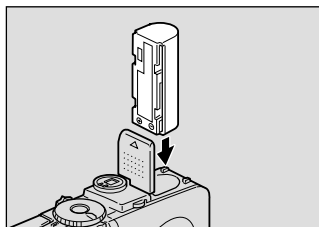
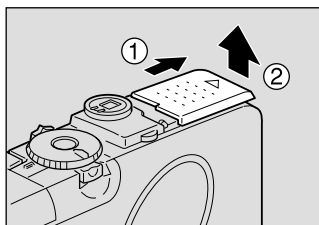
基本操作・早わかり

ここでは、操作概要を説明しています。詳しくは、記載の参照ページをご覧ください。

準備する

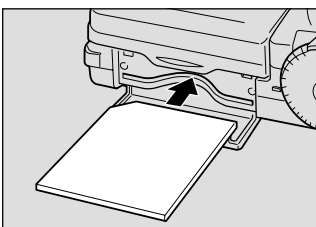
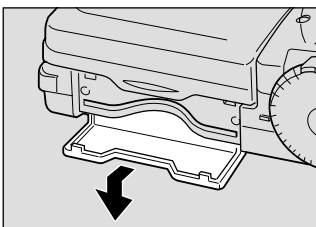
電源を準備する →P.21〜24

❶カメラ本体にバッテリーをセットします。

＊ACアダプターを使用するときは、カメラ本体にACアダプターを接続し､コンセントから電源をとります。→P.24

スマートメディアをセットする →P.25〜27

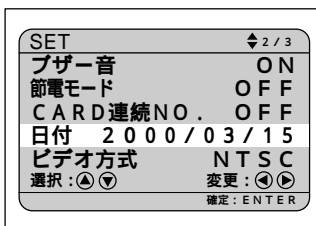
❶電源が切れていることを確認します。

❷カードカバーを開き、スマートメディアをセットします。

＊新しいスマートメディアを使用するときは、必ずカメラでスマートメディアをフォーマット（初期化）してください。
→P.94

日付・時刻を合わせる →P.32〜33

❶電源スイッチをオンにして、モードダイヤルを［SET］に合わせます。

❷ボタン・ボタンを押して、［日付］を選びます。
❸DISPLAYボタンを押して表示方法を選びます。
❹ENTERボタンを押します。

❺ボタン・ボタンを押して、反転している数字を変更します。
❻ボタン・ボタンを押して、修正したい部分を反転させます。
手順❺、❻を繰り返して修正します。
＊ボタン・ボタンを押すたびに、年から月→日→時→分の順番で反転します。
❼日付の設定後、ENTERボタンを押します。

撮影する

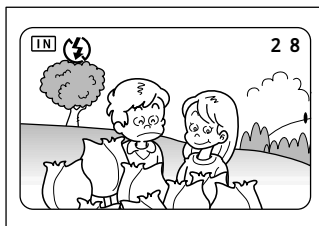
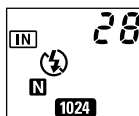
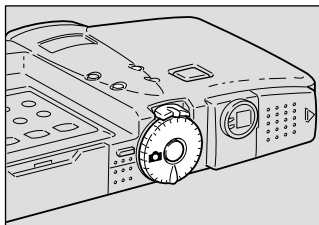
撮影する（静止画モード） →P.39〜46

❶電源スイッチをオンにして、モードダイヤルを［ ］に合わせます。

❷ CARD/IN ボタンを押して記録先を選択します。

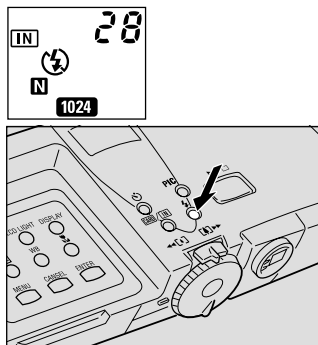
❸ PIC ボタンを押して画質モードを選択します。

❹ズームレバーを動かして被写体の大きさを決めます。
［ ］側にすると被写体が大きくなり、［ ］側にすると小さくなります。
＊ファインダーや液晶モニターを見ながら、被写体の位置を確認してください。

❺シャッターボタンを押して撮影します。

フラッシュモードを変更する　→P.51〜53

❶モードダイヤルを［ 📷 ］または［ 📄 ］に合わせます。

❷ ⚡ボタンを押してフラッシュモードを選択します。

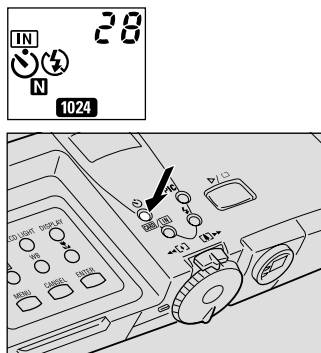
発光禁止（⚡）、オート（⚡A）、強制発光（⚡）、スローシンクロ（⚡：点滅）から選びます。
液晶モニターや液晶パネルに選択したマークが表示されます。

セルフタイマーを使う　→P.57

❶モードダイヤルを［ 📷 ］または［ 📄 ］に合わせます。

❷⏲ボタンを押します。

液晶モニターや液晶パネルに⏲マークが表示されます。

❸シャッターボタンを押して撮影します。

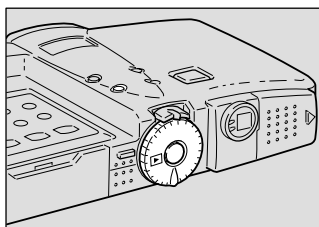
セルフタイマーランプが点滅し、約10秒後にシャッターが切れます。

再生する

再生する（静止画ファイル）　→P.74〜75

❶電源スイッチをオンにし、モードダイヤルを［▶］に合わせます。

❷ CARD/IN ボタンを押して再生元を選択します。

❸ ▲ボタン・▼ ボタンを押してファイルを選択します。

＊分割再生、ズーム再生、オート再生、回転など、いろいろな方法で再生できます。
→P.77〜P.79

消去する

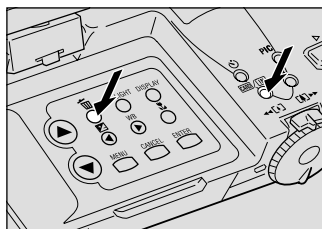
ファイルを消去する →P.88〜90

❶モードダイヤルを［▶］に合わせます。

❷ CARD/IN ボタンを押して消去元を選択します。

❸ 🗑 ボタンを押します。

❹▲ボタン・▼ボタンを押して消去方法を選び、ENTERボタンを押します。

＊消去したファイルは復元できません。
ファイルの内容を確認してから消去してください。

［１コマ消去］を選択した場合

❺▲ボタン・▼ボタンを押してファイルを選び、シャッターボタンを押します。
手順❺を繰り返して１コマずつ消去します。

［全消去］を選択した場合

❺シャッターボタンを押します。

［選択消去］を選択した場合

❺▲ボタン・▼ ボタン・◀ボタン・▶ ボタンを押してファイルを選び、ENTERボタンを押します。
手順❺を繰り返してファイルを選びます。再度ENTERボタンを押すと、選択を解除できます。

❻シャッターボタンを押します。

安全上のご注意

表示について

本書および製品への表示では、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

⚠警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
⚠注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

表示の例

記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。

記号は禁止の行為であることを告げるものです。
の中に具体的な禁止内容が描かれています。

●表示例

 意味：接触禁止　 **意味：分解禁止**

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠警告

●万一、煙が出ている、へんなにおいがするなどの異常状態がみられる場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかにバッテリーを取り外してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてリコー修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。

⚠警告	

●万一、機械内部に異物（金属、水、液体など）が入った場合は、すぐに電源を切ってください。感電や火傷に注意しながら速やかにバッテリーを取り出してください。家庭用コンセントから電源を供給しているときは、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。そしてリコー修理受付センターに連絡してください。機械が故障したり不具合のまま使用し続けないでください。

●液晶モニターが破損した場合、中の液晶には十分注意してください。万一、次の状況になったときは、それぞれの応急処置を行ってください。

・皮膚に付着した場合は、付着物を拭き取り、水を流しせっけんでよく洗浄してください。

・目に入った場合は、きれいな水でよく洗い流し、最低15分洗浄した後、医師の診断を受けてください。

・飲み込んだ場合は、水でよく口の中を洗浄してください。大量の水を与えて吐き出させた後、医師の手当てを受けてください。

●バッテリーの液漏れ、発熱、発火、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

・この製品で指定しているバッテリー以外は、使用しないでください。

・金属製のボールペン、ネックレス、コイン、ヘアーピンなどと一緒に携帯、保管しないでください。

・使用済みのバッテリーは、プラス（＋）とマイナス（−）にテープを貼るなどして保管、破棄してください。

・使用中、充電中に異臭がする、変色するなどの異常がある場合は、ただちにカメラまたはバッテリーチャージャーから取り外してください。

⚠警告

●バッテリーチャージャーによる火災、感電、破裂の防止のため、次のことをお守りください。

・表示された電源電圧以外の電圧を使用しないでください。また、タコ足配線や延長コードの使用は避けてください。

・電源コードを傷つけたり、破損したり、束ねたり、加工しないでください。また、重いものを載せたり、引っ張ったり、無理に曲げないでください。

・濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。また、電源プラグを抜くときは、必ず電源プラグをもって抜いてください。

・布などに包んで使用しないでください。

●この製品で使用しているバッテリーを誤って飲み込むことがないよう、特に幼児・子供の手の届かないところに置いてください。万一飲み込んだ場合は、人体に有害です。直ちに医師と相談してください。

●この製品を幼児・子供の手の届く範囲に放置しないでください。幼児・子供には「安全上のご注意」や「使用上のご注意」の内容が理解できずに事故発生の原因となります。

●落下や損傷により内部が露出したときは、内部には手を触れないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険性があります。感電や火傷に注意しながら速やかにバッテリーを取り出してください。破損したときは、お買い上げの店またはリコー修理受付センターに連絡してください。

●自分でカメラを分解、修理、改造しないでください。内部には高圧電流回路があり、感電する危険があります。

●台所などの湯煙や湿気の当たるところ、水気のあるところでは使用しないでください。火災や感電の原因となります。

⚠警告

●引火性ガスやガソリン、ベンジン、シンナー等の近くで使用しないでください。爆発や火災、火傷の原因となります。

●航空機の中など、使用が制限または禁止されている場所では使用しないでください。事故等の原因となります。

●電源プラグにほこりが付着している場合は、よくふいてください。火災の原因となります。

●家庭用コンセントをご利用になるときは、必ず専用のＡＣアダプター（型名：AC-3〈別売り〉）をご利用ください。指定以外のＡＣアダプターでは、火災・感電・故障の原因になります。

●海外旅行者用として市販されている「電子式変圧器」などにＡＣアダプターを接続しないでください。火災・感電・故障の原因になります。

本機を安全にお使いいただくために以下の内容をお守りください。

⚠注意

●バッテリーから漏れた液が肌に触れると、火傷の原因になります。破損したバッテリーに触れた場合は、すぐに水で洗い流してください。(せっけんは使用しないでください) また、液漏れが起こったときは、液をよくふき取ってから、新しい電池を入れてください。

●電源プラグは、コンセントに確実に差し込んでください。火災の原因となります。

●カメラを濡らさないでください。また、濡れた手で操作しないでください。感電の原因となります。

●車両（自転車、車、列車等）の運転者に向けてフラッシュを発光しないでください。交通事故等の原因となります。

別売り品について

・リモートコントローラーやACアダプターなど別売り品をお使いになるときには、各製品に付属の説明書の「安全上のご注意」を操作の前に必ずお読みください。